

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山おおたかの森駅自由通路管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課			
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実		主管課長	遠藤 茂			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山おおたかの森駅自由通路	意図	自由通路を常時円滑かつ快適に利用できるよう管理する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TX及び東武アーバンパークライン「流山おおたかの森駅」改札口間のアクセス路として、24時間開放の自由通路の防犯・防火・清掃・照明施設等について、一元的かつ効率的に管理するもの。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TX開業から東西南北4箇所の出入り口の整備及びエスカレーターが稼働した。</li> </ul>			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		支障処理件数	45	52	60	件	
指標で表すことができない定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昇降設備、通路、階段等の維持管理により、通路利用者の快適で円滑な通行を確保できる。</li> </ul>						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由通路で発生した支障件数は増加傾向にあるが、迅速な対応により事故は発生していない。</li> <li>・緊急通報装置の悪戯と思慮される通報が増加している。</li> </ul>
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		13,316,733	16,626,201	16,251,082			
事業費(b)(円)		6,406,733	9,096,201	9,386,082			
うち一般財源		3,654,763	6,272,410	7,256,482			
職員給与費(c)(円)		6,910,000	7,530,000	6,865,000			
人役・職員(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由通路利用者の安全な通行を確保するために、定期的な点検を行い、修繕箇所が発見されれば、迅速に対応する。</li> </ul>	取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西口のエレベーター内が真夏になると非常に熱くなる。利用者への快適な利用のためにも対策を考える。</li> </ul>
今年度(H28)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイルや雨どいの補修をし、安全な通行に努めた。</li> </ul>	今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の経年劣化を修繕工事により管理する。</li> <li>・南口(東武側)の高圧洗浄機等による特別清掃を実施する。</li> </ul>